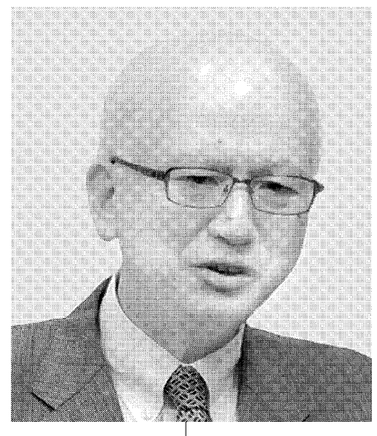
中部の工作機械メーカー主要



ジェイテクト 社長 安形哲夫氏

主要顧客に攻めの営業体制
IoTサービスを本格展開

―工作機械・メカトロ事業の営業手法を見直しています。

「自動車や建設機械など大手顧客21社をリーディングカスタマーと位置づけ、フロントローディングと呼ぶ営業活動を始めた。自動車メーカーは2年半から2年前にはエンジンやトランスミッションの生産ラインの更新計画を決める。その情報を取れる関係を作り、引き合いを受ける前に提案できるようにならなければならない。商売は前さばきだ。工作機械・メカトロ事業の営業は長い間、引き合いを受けてから提案するようになってしまった。トヨタほどとはいかなくても、21社にも張り付かせる。軸受事業でも、8社をリーディングカスタマーに位置づけた」

―IoT（モノのインターネット）関連で社工場をショールームにするということだ。

「EPSでは、ほとんどの自動車メーカーが自社の工場に導入している。我々自身が使いこなせなければ、営業部門が提案できない。自はトヨタで工場長を務めたので、IoEをこう使えばというイメージ、いわば夢と妄想が膨らむ。IoEはただシステムを売るのではなく、やり方、コトを売るソリューション型営業部門を鍛えるだけではそこまで到達しないので、生産改善のベテランを引っ張ってくる。彼らなら、IoEでなにをすべきか理解できる」

―工作機械の基幹部品であるリニアガイドやボールネジの供給不足にどう対応していますか。

「早め早めに発注の内示を出すなど、担当者を張り付かせるしかない。（リニアガイドなどを使用する）半導体製造装置がシリコンサイクルと言わなくなり、好調を維持しているのが影響している。工作機械の部品不足に悩む一方で、軸受事業では軸受の供給能力が足りておらず、ご迷惑をおかけしてしまっている」

―工作機械・メカトロ事業の営業手法を見直しています。

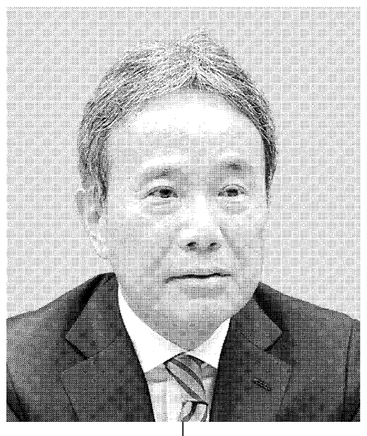
「自動車や建設機械など大手顧客21社をリーディングカスタマーと位置づけ、フロントローディングと呼ぶ営業活動を始めた。自動車メーカーは2年半から2年前にはエンジンやトランスミッションの生産ラインの更新計画を決める。その情報を取れる関係を作り、引き合いを受ける前に提案できるようにならなければならない。商売は前さばきだ。工作機械メーカーの自動車部品事業で培った営業手法を全社に広げる形です。

「EPSでは、ほとんどの自動車メーカーが自社の工場に導入している。我々自身が使いこなせなければ、営業部門が提案できない。自社工場をショールームにするということだ。

「EPSでは、ほとんどの自動車メーカーが自社の工場に導入している。我々自身が使いこなせなければ、営業部門が提案できない。自はトヨタで工場長を務めたので、IoEをこう使えばというイメージ、いわば夢と妄想が膨らむ。IoEはただシステムを売るのではなく、やり方、コトを売るソリューション型営業部門を鍛えるだけではそこまで到達しないので、生産改善のベテランを引っ張ってくる。彼らなら、IoEでなにをすべきか理解できる」

―工作機械の基幹部品であるリニアガイドやボールネジの供給不足にどう対応していますか。

「早め早めに発注の内示を出すなど、担当者を張り付かせるしかない。（リニアガイドなどを使用する）半導体製造装置がシリコンサイクルと言わなくなり、好調を維持しているのが影響している。工作機械の部品不足に悩む一方で、軸受事業では軸受の供給能力が足りておらず、ご迷惑をおかけしてしまっている」



DMG森精機 社長 森雅彦氏

生産台数1万2000台も視野に
働き方改革を着実に進め利益も確保

―世界主要極で活発な設備需要を取り込み、昨年の生産台数は1万1000台と高水準でした。

「2018年は1万1500台を計画している。今年は高原プラトーといったところだ。前年比で3%増を中心地とし、場合によっては5%増の成長もありそうだ。生産台数で言うと1万1500台が中心地で、1万2000台もありそうだ。いつも言うことだが、5軸化、複合化、自動化が進んでおり、5軸加工機は受注金額ベースで全体の40%ほどを占めるまでになった」

―国内外の足元の受注状況を教えてください。

「2018年は1万1500台を計画している。今年は高原プラトーといったところだ。前年比で3%増を中心地とし、場合によっては5%増の成長もありそうだ。生産台数で言うと1万1500台が中心地で、1万2000台もありそうだ。いつも言うことだが、5軸化、複合化、自動化が進んでおり、インフラ関連、繊維機械、印刷機械、一般産業機械、環境関連のほか、鉄道関連も当然いい。インドは顧客が資金調達をしにくい状況なので、ファイナンスをよくみながら対応していかなければならない。上流のデジタル化が遅れているほか、工程の複合化、計測の技術も遅れている。大量にモノを作ってきたため、工程分割に慣れているからだ。

「日本雇用の社員は危機感がある」

―政府は働き方改革を推進しています。以前からDMG森精機は積極的に取り組んできました。

「日本はこのままでは〝やばい〟。モノづくりという言葉もなくなる。日本はすでに取り残されている。ものすごい見劣りします。

「日本はこのままでは〝やばい〟。モノづくりという言葉もなくなる。日本はすでに取り残されている。ものすごい見劣りします。

「国内は17年12月に単月の過去最高を記録した。いつも言うことだが、5軸化、複合化、自動化が進んでおり、インフラ関連、繊維機械、印刷機械、一般産業機械、環境関連のほか、鉄道関連も当然いい。インドは顧客が資金調達をしにくい状況なので、ファイナンスをよくみながら対応していかなければならない。上流のデジタル化が遅れているほか、工程の複合化、計測の技術も遅れている。大量にモノを作ってきたため、工程分割に慣れているからだ。

「国内は17年12月に単月の過去最高を記録した。いつも言うことだが、5軸化、複合化、自動化が進んでおり、インフラ関連、繊維機械、印刷機械、一般産業機械、環境関連のほか、鉄道関連も当然いい。インドは顧客が資金調達をしにくい状況なので、ファイナンスをよくみながら対応していかなければならない。上流のデジタル化が遅れているほか、工程の複合化、計測の技術も遅れている。大量にモノを作ってきたため、工程分割に慣れているからだ。

「日本雇用の社員は危機感がある」

―政府は働き方改革を推進しています。以前からDMG森精機は積極的に取り組んできました。

「日本はこのままでは〝やばい〟。モノづくりという言葉もなくなる。日本はすでに取り残されている。ものすごい見劣りします。

「日本はこのままでは〝やばい〟。モノづくりという言葉もなくなる。日本はすでに取り残されている。ものすごい見劣りします。

―日本の5軸加工機の割合は14%です。40%前後の欧米、アジア、中国に比べかなり